



士別ロータリークラブ会報

創立 1960・3・24 RI第 2500 地区

Vol. 16 No. 2833

2023-2024年度国際ロータリーのテーマ

2023-2024年度R I 会長 ゴードンR.マッキナリー

2023-2024年度R I 第2500地区テーマ

ガバナー鶴見誠一郎

今こそ変わる勇気を！さあ、一歩前へ

2023-2024年度士別ロータリースローガン

【勇気ある行動で友情と奉仕の実践へ】

～ Let's begin ～



世界に希望を生み出そう

- 会 長／菊地 昭通
- 副会長／山下 卓己
- 幹 事／福島 和秀
- 例会場／士別グランドホテル
- 例会日／毎週月曜日 12:10～13:00

2500地区ホームページ <http://rid2500.jp/>

士別RC <http://www.douhoku.jp/sibeturc/>

R I ホームページ <https://www.rotary.org>

第2922回例会 2023年 11月 13日

今日のプログラム

・普通例会

前回（11月6日）の記録 ・普通例会

司 会 志村孝幸 会場監督
 斉 唱 奉仕の理想
 本日の出席 会員 43人中 出席者 24人 出席率 67.4%
 本日の欠席 榎本実男・大橋直幸・尾崎学・片庭隆暁・加藤博・神田英一・北村浩史
 近藤峯世・但木行久・田中道也・奈良康弘・深尾幸夫・藤吉敏博・法邑和浩
 細川博司・前田孝幸・山本政史・大江智宣・山崎貴弘
 ニコニコBOX 谷村一文会員（阪神タイガース日本一記念）★★
 （全日本大学駅伝中央大 本間選手区間賞5位記念）
 近井孝義会員（江別木質バイオマス発電事業原料供給協議会幹事就任）
 福島和秀会員（灯油券無理やり買取させられた記念）
 山崎貴弘会員（誕生祝い）

累計 208,000円

例会予定

■ 11月例会日[ロータリー財団月間]

- 11月 6日(月) 普通例会・理事会
- 11月 13日(月) 普通例会
- 11月 20日(月) 普通例会
- 11月 27日(月) 夜間例会

■ 12月例会日[家族月間]

- 12月 4日(月) 普通例会・理事会
- 12月 11日(月) 夜間例会・ファミリーパーティ
- 12月 18日(月) 普通例会
- 12月 25日(月) 特別休会

■会務報告・・・・・・・・・・菊地 昭通会長

本日は、葬儀の役割についてお話致したいと思います。葬儀において、親族への対応は避けられません。しかし、弔問に訪れる一般参列者との兼ね合いも考慮しなければなりません。故人の友人・知人は当然のこと、喪主自身の関係先も無下にはできないでしょう。例えば、通夜の後に食事を用意する場合があります。故人・喪主との親しい間柄であれば、同席を促されることもあるが、このような場合は基本的に親族だけで行われます。

通夜後の式場では、棺に納まった故人を囲んで、思いを語り合う場が持たれます。

そして、喪主や主な遺族には棺の側や出口で参列者への対応や見送りという役割があります。

この時、喪主が一般参列者の対応に集中し過ぎていると、親族への食事の案内が不十分になります。

実際、通夜後の動向を計りかねた親族が次々と帰ってしまい、あとでその非礼を指摘されることもあります。また、用意した食事が大量に余り、処分に困ったというケースも聞きます。

葬儀社側でも食事の場へ親族を促してくれることもあります。

だが、葬儀社側では親族なのか一般的なのか判別ができません。場合によっては、親族でも招待を考えていない人もあります。

こうしたことを考えると、できれば喪主が食事への案内を行いひと言挨拶をして会食に入るのが望ましいかも知れません。

先にも述べたとおり、実際には故人や喪主自身に関係する参列者への対応もおろそかにはできません。

喪主に次ぐ立場の人間を決めたおけば、その人が案内に立つことで流れをスムーズにすることができます。喪主に代わって、葬儀の進行上必要な判断、決定を行える人を決めておくことは葬儀を円滑に行う上で役立ちます。

このような役割は、葬儀を通して様々な場面で必要性が出てきます。

故人への感傷から一步引いて、葬儀の進行を冷静に見守ることができる実務的な役割を引き受けてくれる人物がいれば有益ありますが但し、これはあくまで理想であります。

葬儀は故人の成仏を願い、遺族の心を落ち着かせるために行うものです。

参列する側でもこうしたことを念頭に置き、親族であ

れば手伝いの是非をうかがうことが望ましいのでは。また、どのような予定で参列するつもりか進んで申し出るなどできることは多々あります。

また、一般の参列者でも故人への思いを遺族に伝えたいし、喪主や遺族を励ましたいなどの気持ちもあるでしょう。

だが、葬儀の場では簡潔に済ませ、後日手紙に思いを込めることも一つの方法でもあります。

少子高齢化もあって70歳、80歳で初めて喪主を務めるという話も珍しくなくて、核家族化によって他の親族の葬儀に関わることもあまりなく、葬儀の経験そのものが少なくなっています。

喪主を務める親世代が何かと戸惑う場面が多い以上、子や孫世代はなおさら不慣れな状態になってくるのではないのでしょうか。

繰り返し伝えていることだが、万が一の時に備えて考え事前の行動が重要になります。

私も最後は、サクラホールにお世話になると思います。その節は、皆さん宜しくお願い致します。

■幹事報告・・・・・・・・・・福島 和秀 幹事

1. 11月のロータリーレートは149円となります。
2. 赤い羽根共同募金の依頼が届いております。
ご協力いただけますお方は募金の程よろしく願います。
3. RLI講習が11月12日に開催されます。
当クラブから菊地会長と、私福島が出席となります。
4. 本日11月6日の例会終了後に理事会を開催しますので役員、理事の皆様はご出席お願いいたします。